

参考

地域経済循環創造事業交付金(ローカル10000) 交付決定事業一覧(4月10日受付分)

(単位:千円)

団体名		事業名	交付予定額	融資予定額	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性	
1	秋田県	あきた食品産業活性化モデル育成事業(地域資源活用による健康食品素材の新事業化)	25,000 (国費 12,500 地方費 12,500)	25,000	秋田銀行	<ul style="list-style-type: none"> ・県内における食料品・飲料等の製造品出荷額等の低迷 ・日本酒の国内消費の減退 ・廃棄物として処理される米糠、酒粕、規格外枝豆の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・産官学の研究成果を基に、廃棄していた米糠、酒粕や規格外枝豆を用いてGABA粉末や酒粕、枝豆粉末といった付加価値の高い製品を生産し、県内企業や大手食品企業への量販化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官の研究成果等を基にした新規事業の立ち上げ及び市場性の高い食品素材の商品化は、県内事業者の二次商品化などの波及効果も高く、地域の食品産業を牽引する。 ・蔵元が日本酒製造以外の新分野に取り組む例はほとんどなく、厳しい経営環境の醸造業界における経営の多角化及び規模拡大を図る。 ・事業者の発酵技術を活かし、廃棄されている米糠や酒粕、規格外枝豆の活用を図る。 	
2	群馬県	下仁田町	こんにゃく粉を原料とした、アルカリ添加不要でゲル化するこんにゃく粉製品の開発、製造、及び販売事業	33,000 (国費 22,000 地方費 11,000)	50,000	しののめ信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃく芋を原料とした精粉業・食品製造業の低迷 ・こんにゃく芋生産農家の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・中性領域でゲル化するこんにゃく粉を製造し、食品添加物としての用途を開拓することによって、こんにゃくの利用を拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品であるこんにゃくに関連する市場自体を拡大し、地域内の関連産業の持続的な活性化を図る。 ・こんにゃく芋の価格低迷が生産農家減少の一因であることから、原料であるこんにゃくに高い付加価値を付与することにより、取引価格の安定と生産農家の維持につなげる。